

2023年度 看護部教育計画

医療法人社団 康心会

茅ヶ崎中央病院 看護部

教育方針 グループおよび看護部の理念・方針に基づき、質の高い看護を実践できるよう育成する。

教育目的 急性期、回復期から慢性期、在宅看護・介護の医療において、専門的な看護と患者に満足と安全・安心を提供できる看護・介護職員を育成する。

- 教育目標
- 1.人としての尊厳及び権利を尊重し、患者の擁護者として行動ができる能力を養う。
 - 2.専門職としての臨床実践能力を向上し、質の高い看護を提供できる看護・介護職員を育成する。
 - 3.医療チームとしての役割を認識し、保健医療福祉に関わりケアコーディネートできる能力を養う。
 - 4.看護の専門性を追求し、専門職業人として自己啓発を支援する。

2023年2月13日
No.1

カテゴリー	対象者	教育目的・目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考/担当者
実務Ⅰ (新人看護職員研修)	新人看護職員	目的 1.看護チームの一員としての役割を認識する 2.チームメンバーとしての職責を果たすために必要な能力を獲得する	新入職員 オリエンテーション 4/1	メンバーシップ 5/26	急変時の予測と救命教 急場面の対応(BLS) 6/23	3ヶ月フォロー 看護倫理Ⅰ 7/7	リスクマネジメントⅠ 医療安全 8/4	フィジカルアセスメント 9/8	リスクアセスメント 多重課題 10/6	プロセスレコード (ガイダンス) 11/10			12ヶ月フォロー 1年の振り返り(プロセスレコードを基に) レポート提出期限 :1/9★		★提出:1/9
		目標 1.自立した看護実践を行う為の知識・技術を身につけることができる 2.安全で確実な看護を実践できる 3.職場環境に適応し、より良い人間関係を築くことができる 4.看護チームの一員としての自覚を持ち、積極的に看護に取り組むことができる	看護部 オリエンテーション 4/1,3,4			基礎看護技術研修 6/16								脳卒中リハビリ看護 1/19	
実務Ⅱ	卒後2年目	目的 1.看護チームにおける自己の役割を認識する 2.チームメンバーとしての職責を果たすために必要な能力を獲得する		ACLS(二次救命処置) 5/12	リーダーシップⅡ-1 6/16	リーダーシップⅡ-2 7/14			看護過程Ⅱ-1 10/13		看護倫理Ⅱ-2 12/15		★看護過程Ⅱ-3 事例報告(発表) 2/9		★発表:2/9
実務Ⅲ	卒地後3 導年目	目標 1.個性のある看護を実践できる 2.日々発生する問題を解決する手だてを見出すことができる 3.チームメンバーと円滑な人間関係を築くことができる				リーダーシップⅢ 目標管理Ⅱ 7/28		倫理研修Ⅱ 9/22		医療安全 リスク感性を高める 11/24	看護観(ガイダンス) 12/8	実地指導者の役割 1/26		★私の看護観(発表) 3/8	★発表:3/8
実務Ⅳ	卒後4 5年目 看護研究	目的 1.医療チームにおける自己の役割を認識する 2.指導者層としての職責を果たすために必要な能力を獲得する			★看護研究Ⅰ 基礎 6/30	★看護研究Ⅱ 研究課題選定 7/21			★看護研究Ⅲ 研究計画書フォロー 10/20			★看護研究Ⅳ 研究計画書提出① 1/	地域医療包括ケアス テムを形成する施設・職 種・制度 2/		
		目標 1.職場目標を達成するためのより良い看護が実践できる 2.日々の業務の中で効率的な運営を図ることができる 3.業務上発生する問題の解決に向けて、上司・看護者へ働きかける事ができる 4.円滑な人間関係を図りながら、チームメンバーに教育的に関わる事ができる 5.看護実践の役割モデルとしての職責を自覚し、自己の成長を図る為の課題を明確にできる	研究計画書 研究支援担当者 看護管理者確認	研究支援担当者によるサポート 看護管理者によるサポート											医療・教育研究会
	卒後4 5年目 実地指導者	目的 1.医療チームにおける自己の役割を認識する 2.指導者層としての職責を果たすために必要な能力を獲得する			★看護研究Ⅰ 基礎 6/30	★看護研究Ⅱ 研究課題選定 7/21			★看護研究Ⅲ 研究計画書フォロー 10/20			★看護研究Ⅳ 研究計画書提出① 1/	地域医療包括ケアス テムを形成する施設・職 種・制度 2/		
	卒後4 5年目 看護研究	目的 1.医療チームにおける自己の役割を認識する 2.指導者層としての職責を果たすために必要な能力を獲得する			★看護研究Ⅰ 基礎 6/30	★看護研究Ⅱ 研究課題選定 7/21			★看護研究Ⅲ 研究計画書フォロー 10/20			★看護研究Ⅳ 研究計画書提出① 1/	地域医療包括ケアス テムを形成する施設・職 種・制度 2/		
実地指導者	実地指導者	目的 新人看護職員を効果的に育成する為に必要な考え方を理解する 目標 1.新人看護職員のリアリティショックを軽減し職場生活に適應できるように支援できる 2.新人看護職員が組織の理念や目標を理解し、組織チーム一員としての役割行動がとれるように支援する 3.看護の実践展開できるよう支援できる	目標達成シート評価(1ヶ月) 4/24まで		目標達成シート評価 (3ヶ月) 6/26まで			目標達成シート評価 (6ヶ月) 9/25まで			目標達成シート評価 (9ヶ月) 12/25まで	実地指導者の役割と 教育支援計画立案 1/19		年間計画総括 (12ヶ月) 3/11まで	
教育担当者	教育担当者	目的 看護部の教育目標を理解し、教育計画を基に看護職員の継続教育が効果的に行われるよう教育的視点と知識を修得し、研修立案・運営・評価する能力を育成する 目標 1.新人看護職員の職場への適応状況を把握し、新人看護職員臨床研修が効果的に 行われるよう、実地指導者と新人看護職員への教育及び精神的支援ができる 2.看護部教育計画に沿って、新人看護職員研修の計画立案と実施・評価ができる 3.新人看護職員同士、実地指導者同士の意見交換や情報共有の場を設定し、 新人看護職員の実地指導者との関係調整支援ができる	目標達成シート評価(1ヶ月) 4/24まで	教育担当者研修Ⅱ 教育担当者に必要な知識 5/19	目標達成シート評価 (3ヶ月) 6/26まで	教育担当者研修Ⅲ 7/20		目標達成シート評価 (6ヶ月) 9/25まで			目標達成シート評価 (9ヶ月) 12/25まで		教育担当者研修Ⅰ 教育担当者の役割 3/10	年間計画総括 (12ヶ月)	

カテゴリー	対象者	教育目的・到達目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考/担当者
看護管理者	副主任 主任 係長 課長代理 課長	目的 看護部・看護単位の目標達成に向け自己の役割を認識する 看護管理者の責務を果たすために必要な能力を習得する 目標 1.看護部の方針かと目標から、看護単位が目指す目標を設定できる 2.目標を達成する為に組織的かつ効率的なマネジメントが実践できる 3.質の確保に向けた看護が実践できる 4.問題を把握分析し解決に向けて主体的に取り組むことができる 5.キャリア開発表現に向けた教育・研修が実施できる 6.看護課長としての役割遂行状況と成果を客観的に評価できる 7.看護単位の責任者として職務を自覚し、自己の成長を図る為の課題や目標を明確にできる		看護管理者の役割と機能 5/	組織マネジメントの基礎 6/	看護実践における倫理 7/	看護チームのマネジメント トリーディングアップとメン バーシップ- 8/	組織分析と経営戦略 9/	看護管理における問題 解決思考と過程 10/	看護サービスの質管理 11/	安全管理とリスクマネジメント 12/	人材育成の基礎-キャリア 開発の考え方とその 展開- 1/	看護実践に活かす情報 管理 2/	チーム医療と看護の専 門性 3/	
実習指導者	実習指導者 実習指導者 予定者	湘南医療大学看護キャリアセンター 看護師実習指導者講習会 目的 看護基礎教育についての理解を深め、実習指導に必要な知識・技術を 修得し、効果的な臨床実習指導を行うことのできる人材育成を目的とする 目標 1.これまでの看護実践を振り返り、教育の基本的考え方および看護基礎教育の理解が深まる 2.自己の看護実践を振り返り、看護の役割・機能に対する認識が深まる 3.看護基礎教育における臨床実習の意義を理解し、実習指導者の役割を探究できる 4.実習指導の内容及び効果的な指導方法を考察できる 5.専門職として、継続的に学ぶ態度を養う						研修期間：9月～12月			修了				
認知認定 看護分 野	看護師免許取得 後実務経験 が60ヶ月以上の 看護職員等	湘南医療大学看護キャリアセンター 認定看護師教育課程認知看護分野 目的 認知症者の意見を尊重し、権利を擁護することができる。認知症の発症から終末期まで、認知症 者の状態を統合的にアセスメントし、各期に応じたケアの実践、ケア体制づくり、家族のサポートを行 うことができる。認知症の行動心気状態(BPSD)を悪化させる要因・感情に働きかけ予防・緩和する 事ができる。認知症者にとって安心かつ安全な生活・療養環境を調整することができる。他疾患合併に よる影響をアセスメントし、治療的援助を含む健康管理を行うことができる。認知症に関する保健・医 療・福祉制度に精通し、地域にある社会資源を活用しながらケアマネジメントできる。認知症看護の美 徳を通して役割モデルを示し看護職に対する具体的な指導・相談対応ができる。多職種と協働し、認知 症に関わる知識の普及とケアサービス推進の役割を担うことである			研修期間：6月上旬～3 月下旬									修了	
認定 教育課 程 ファース トレベ ル	看護師免許取得 後実務経験が 5年以上の者	湘南医療大学看護キャリアセンター 認定看護管理者教育課程ファーストレベル 募集定員：40名 目的 看護管理者として基本的責務を遂行するために必要な知識・技術・態度を習得する 目標 1.ヘルスケアシステムの構造と現状を理解できる。 2.組織的看護サービス提供上の諸問題を客観的に分析できる。 3.看護管理者の役割と活動を理解し、これからの看護管理者のあり方を考察できる			研修期間6～7月	修了									課程修了：日本看護協会認定看護管理者教育課程ファーストレベル修了
認定 教育課 程 セカンド レベ ル	看護師免許取得 後実務経験が 5年以上の者、認定 看護管理者教 育課程ファース トレベル修了者等	湘南医療大学看護キャリアセンター 認定看護管理者教育課程セカンドレベル 募集定員：20名 目的 看護管理者として基本的責務を遂行するために必要な知識・技術・態度を習得する 目標 1.組織の理念と看護部門の理念の整合性を図りながら担当部署の目標を設定し、 達成に向けた看護管理過程を展開できる。 2.保険・医療・福祉サービスを提供するための質管理ができる						研修期間：9月～12月			修了				課程修了：日本看護協会認定看護管理者教育課程セカンドレベル修了
看護補助者	介護福祉士 看護補助者	目的 看護補助者の役割を果たす為に必要な知識・技術・態度を習得する 目標 1.看護補助者業務を遂行する為の基本的知識・技術・態度が習得できる 2.看護チームの一員としての自覚をもち実務ができる 3.安全で安楽なケアを実践する為の基礎知識が習得できる			看護補助者研修 オムツ交換技術 6/			看護補助者研修 誘導防止 9/	看護補助者倫理研修 虐待防止 10/		看護補助者研修 転倒・転落防止 12/		看護補助者研修 オムツ交換技術 6/		
全職員	全職員		全体研修会 4/	全体研修会 5/	専門部会別研修 6/ 倫理研修：虐待防止 6/	全体研修会 7/	全体研修会 8/ 医療安全 感染防止対策7/	全体研修会 9/	全体研修会 10/	全体研修会 11/	全体研修会 12/ 医療安全 感染防止対策1/	全体研修会 1/	医療・教育研究会 2/ 倫理研修：虐待防止 2/	全体研修会 3/	
教育委員会 活動計画			前期研修計画立案・検討(4月～9月研修) 前期研修準備・講師依頼・研修運営			後期研修計画立案・検討(10月～4月研修) 前期後期研修準備・講師依頼・研修運営			後期研修準備・講師依頼・運営			2023年度 委員会総括 2024年度 教育計画策定		2023年度研修評価 委員会実施	